

KHB 植樹祭が開催されました

4月29日に、「未来の子どもたちに緑豊かな森を残したい、水源の森を守りたい」という願いのもと、長老湖近くの山林を会場にオオヤマザクラの苗木3000本を植樹する「植樹祭」が開催されました。当日はKHBグリーンキャンペーンの参加者や七ヶ宿小学校の皆さんなど、約200人の参加がありました。平成4年からスタートしたこの取り組みは、今回で24回目を迎え、これまでに植樹された総数は6万6千本に上っています。一本一本願いを込めて植樹された苗木が、長老湖を彩ってくれる日が待ち遠しいです。



デジタル無線機の寄贈を受けました



5月1日に、総務省東北総合通信局総務部長が来庁され、町へデジタル無線機8台が寄贈されました。これまで、町ではアナログのものを使用していましたが、デジタル無線機のほうが軽く、電波の受信能力も高いということもあり、今後の防災活動等において有効に活用させていただきます。

春の交通安全町民総ぐるみ運動出動式

5月11日～20日までの10日間、春の交通安全町民総ぐるみ運動が行われ、初日の11日に役場前で出動式を行いました。関係団体から約30名が集い、町民の交通安全意識の高揚に努める決意を新たにしました。16日に予定していた街頭キャンペーンは、雨天のため中止となりましたが、期間中は各地区で街頭指導にご協力をいただきありがとうございました。



しちがしゆく自然体験村



七ヶ宿町山村留学推進協議会（教育委員会）主催で実施している山村留学事業が7年目を迎えました。

今年度は、小学生を対象とした短期山村留学に加え、家族を対象にした自然体験（年2回）を実施いたします。

そのうち1回目である「田植え・春山散策」を5月23日に、仙台市・名取市・白石市から6家族25名の申し込みをいただき、開催しました。天候にも恵まれ、元気に活動することができました。



春山散策では田んぼの周辺を散策し、耳を澄まして虫の鳴き声や、草花の香りなどの説明を興味深く聞いていました。ホタルの餌となるカワニナやシオカラトンボを見つけると実際に触って、近くで観察していました。

田んぼの上流にある林では、木を健康にさせて、水の浄化に効果がある炭まき活動をしました。



昼食は、地域の方が作ってくださった、山菜汁や源流米を使ったおにぎりなどを美味しくいただきました。

「おいしい～」とおかわりしている姿が多く見られ、大好評でした。



田植えでは、源流米ネットワークの方々を中心に、手植えのやり方など教えていただきました。

初めて田植えをする人がほとんどで、土の触感などを感じ、大人も子どもも泥だらけになり、田植えを行いました「楽しい!」「稲刈りが楽しみ。また早く来たい。」という感想でした。帰りたくないと言いつつも子どももおり、参加者同士の交流も図られ、充実した活動となりました。

地域の皆様は、いろいろと忙しい大変な時期にも関わらず、ご協力いただきありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、事業を実施する事ができたこと、改めて感謝申し上げます!